

2020年度計画 業務実績報告書（イメージ）

第2 教育に関する目標を達成するための措置 1 専門職業人の育成に関する目標を達成するための措置

第三期中期計画	項目番号	年度計画 P(計画:Plan)	達成 状況	2020事業年度計画		評価	評価委員会の指摘・意見等		
				実施状況・判断理由等					
<p>・デザイン学部と看護学部の学生が協働して、地域の現状や課題を知り、その解決手法を提案する地域志向科目を連動させることにより、地域に貢献できる人材を育成する。</p> <p>【指標】卒業時に地域の課題発見、解決提案する能力が身に付いたと認識した学生の割合：65%/年</p>	1	<p>・両学部の学生が協働して地域課題に取り組み、それぞれの専門性を理解しながら異分野連携に必要な基礎的知識・技術・態度を習得する2年次前期開講科目「学部連携基礎論」、その基礎を踏まえて課題解決プロセスを習得する3年次後期開講科目「学部連携演習」等の地域志向科目を、シラバスに基づき着実に実施する。</p>		<p>大学の自己評価（進捗状況）</p>		<p>2020事業年度計画実施状況 評価委員会評価 (IV～Iを記載)</p>			
		(成果指標)		(成果指標の達成状況)	<p>指標の達成状況を記載 数値：◎=達成(100%以上)、○=達成(80%以上)、×=未達成(80%未満) その他：◎=達成、×=未達成</p>			<p>評価の根拠・ポイント・補足を記載 ※評価結果が大学の自己評価と異なる場合は必須</p>	
		<p>・卒業時に地域の課題発見、解決提案する能力が身に付いたと認識した学生の割合：65%</p>							
		<p>前年度実績に関する評価委員会からの意見・指摘事項等</p> <p>・卒業時の評価アンケート結果が出ていないため、仕方がない部分はあるが、「連携演習効果検証」の内容が「効果検証」になっていないので、正確な評価ができない。 「効果検証」は不満の有無では測れない。「効果検証」は「実施報告」ではないので、可能な限り根拠のある数値を示しながら、客観的な記述を望む。(小項目1)</p>		<p>前年度実績に関する評価委員会からの意見・指摘事項等に対する対応</p> <p>昨年度の評価委員会意見と対応状況</p>					